

東北植物学会 第 13 回大会

(岩手大会)

2023 (令和5) 年12月9日 (土)・10日 (日)

岩手大学上田キャンパス 教育学部1号館・北桐ホール

主催：東北植物学会

後援：岩手大学

概要

【会場】

盛岡市上田 3-18-33 岩手大学上田キャンパス

- ・ 口頭発表、公開シンポジウムなど：教育学部 1号館北桐ホール
- ・ ポスター発表：教育学部 1号 E22 および E23
- ・ 会員交流会：岩手大学生協理工学部食堂
- ・ アクセス等：

<https://www.iwate-u.ac.jp/access.html>

<https://www.iwate-u.ac.jp/campus/facility/map.html>

【日程概要】

12月9日（土）

11:00～12:00 役員会

11:00～ 参加者受付

11:00～13:00 ポスター貼付

13:00～14:30 口頭発表 1

14:30～15:00 休憩

15:00～16:30 公開シンポジウム「岩手で農学研究を支える若手研究者」

16:30～17:15 ポスターセッション 1

17:15～18:00 ポスターセッション 2

18:30～20:30 懇親会

12月10日（日）

8:30～ 開場

9:00～11:15 口頭発表 2

11:15～11:30 休憩（優秀発表賞投票）

11:30～11:40 学会奨励賞の表彰

11:40～12:40 総会&優秀発表賞の選出と表彰

会場案内

【交通案内】

1. バス利用

1-1. 「盛岡駅→岩手大学」

バス停：盛岡駅前バスターミナル 11 番のりば

・岩手県交通バス

駅上田線： 乗車-「松園バスターミナル行き」、下車-「岩手大学前」

駅桜台団地線：乗車-「桜台団地行き」、下車-「岩手大学前」

1-2. 「岩手大学→盛岡駅」(※お帰りの際は、行きとは別のルートとなります)

バス停：「上田二丁目」(岩手大学正門前から約徒歩3分)

・岩手県交通バス

駅上田線：乗車-「盛岡駅行き」、下車-「盛岡駅」

・岩手県北バス

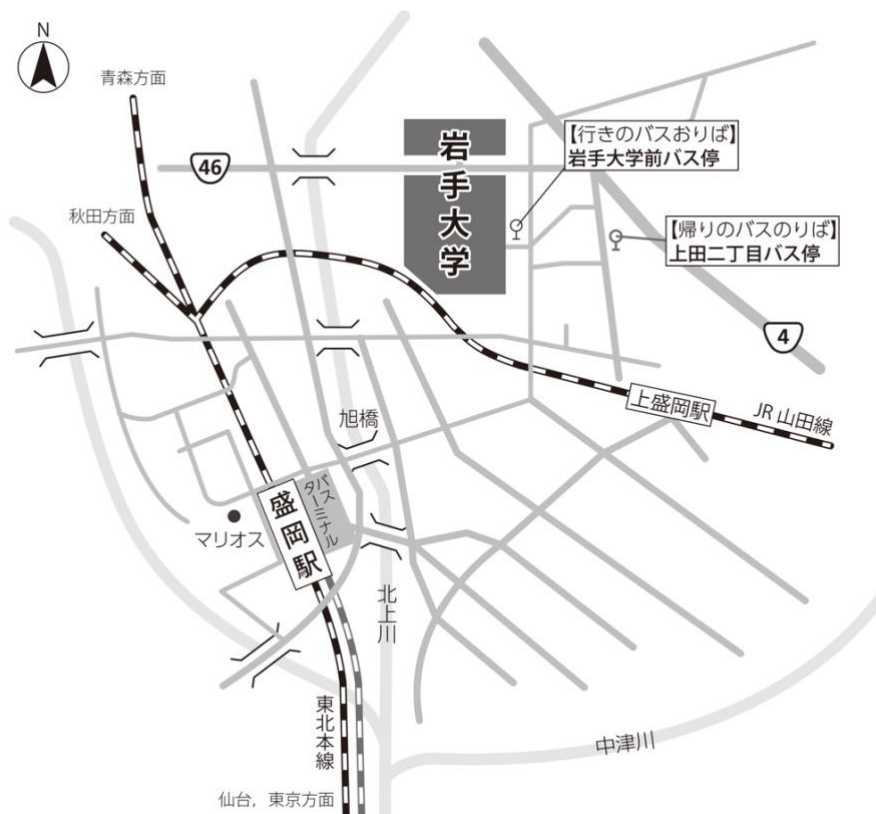
乗車-「イオンモール盛岡南行き盛岡駅行き」、下車-「盛岡駅口」

2. タクシー利用

盛岡駅から約2km 約10分

3. 徒歩

盛岡駅から約25分



【会場周辺地図】



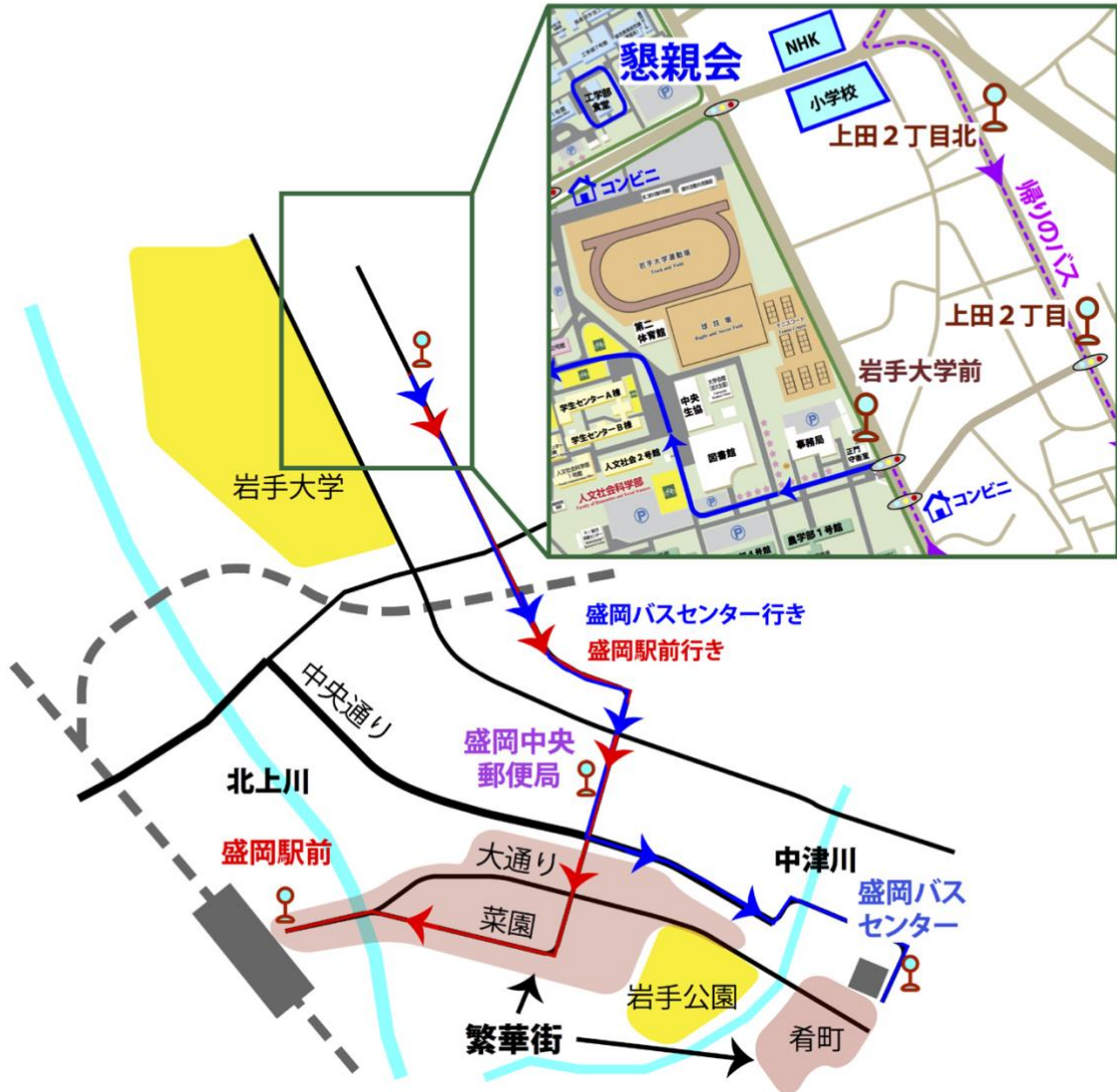
【会場案内図】



【帰りのバスについて】

帰りのバスに関する注意事項

- ・帰りのバスは、大きく分けて駅前行きとバスセンター行きの2種類あります
- ・盛岡中央郵便局から行き先が分かります
- ・バスセンターから駅前行きのバスはあります



大会に参加される皆さまへ

【全般的注意】

大学内は全面禁煙です。

【参加費・懇親会費など】

・大会参加費

一般：会員 2,000 円、非会員 3,000 円

学生：会員 1,000 円、非会員 2,000 円

* 学部学生で発表をしない場合には、参加費は必要ありません。

* 非会員の方で入会を希望される方は、大会受付で手続きをして下さい。年会費は 500 円です。入会手続きをして頂いた場合は、本大会も会員として参加できます。非会員で入会予定の方はその旨を参加申込の際にご連絡下さい。

・紙に印刷した要旨集

・紙媒体の要旨集は別売 500 円になります。

・PDF 要旨集は無料ダウンロードできます。

・大会プログラムは当日無料配布いたします。

・懇親会費

11 月 29 日までの申込：一般 4000 円 / 学生 3000 円

11 月 29 日以降の申込：一般 5000 円 / 学生 4000 円

・参加費及び懇親会費は大会当日に受付でお支払い下さい

・余裕がある場合に限り、当日も参加受付をします。

【体調不良で当日参加できない場合】

本大会では昨年までのようなコロナ対策は行いませんが、

発熱等の体調不良の場合は、参加をお控えいただくようお願いいたします。

また、事前登録を行っている方は、大会準備委員会に電子メールでご連絡下さい。

ただし、体調不良の方に限り、オンライン参加できるよう準備する予定です。

また、口頭発表者が対面参加できない場合は、以下のいずれかの対応が可能です。

1) 共著者による講演

事前参加登録をしていない方の対面講演もお認めします

(ただし、当日の参加登録は必要です)

2) オンラインによる発表

WebEx を利用する予定です

【昼食】

- ・大学生協の食堂ですが、12月9日（土）は営業、10日（日）は休業の予定です。
<https://www.iwate.u-coop.or.jp/store/time/>
- ・付近の食堂は限られていますが、両日とも隣接するコンビニエンスストアは営業しております。

【懇親会】

酒類の持ち込みが可能です。各地の日本酒等、皆様からの差し入れを歓迎いたします。

【発表要領】

1. 口頭発表は、1題あたり15分の持ち時間（12分発表3分質疑応答等）を予定しています。
2. 液晶プロジェクター（16:9の設定です）を準備しますが、発表用のパソコンは各自用意し、操作も発表者自身で行ってください。
3. 液晶プロジェクターとパソコンを接続するケーブルのコネクタは、HDMI およびRGBです。お持ちのノートパソコンの映像出力端子が異なる場合は、接続アダプタをご自身でご用意下さい。
4. 予想外のトラブルに備えて、発表用のファイルのバックアップをUSBメモリー等に入れてお持ちください。
5. ポスター発表は、口頭発表会場のそばの講義室を予定しています。
6. ポスター発表のパネルの大きさは、縦180cm×横97or93cmで、A0サイズが掲示できる大きさです。
7. ポスター製作の際には、講演番号を貼るための余白（10cm×10cm）を左上角にとって下さい。
8. 貼り付け用の画鋏などは準備委員会で用意します。

【東北植物学会第13回大会優秀発表賞】

1. 大会参加者の投票により、学生会員（ポスドク等を含む）による一般発表（口頭およびポスター）のうちで最も優れたものを選出し、優秀発表賞として表彰します。学生会員の皆さんによる発表申込をお待ちしています。
2. 優秀発表賞にエントリーを希望する場合は、講演申込の際に明記して下さい。

【大会に関するお問い合わせおよび連絡先】

〒020-8550 岩手大学農学部
東北植物学会第13回大会(岩手大会)準備委員会
TEL: 019-621-6200(河村幸男)
e-mail: tbs2023iwate@gmail.com

講演プログラム

12月9日(土)

一般講演 13:00~14:30 (◎は優秀発表賞選考対象、*は発表者)

(座長：宮沢 豊・山形大学)

- 13:00 O1◎ シロイヌナズナにおける明所での凍結馴化のメカニズム解明
杉田健史*¹, 高橋俊介², 上村松生^{1,2}, 河村幸男^{1,2} (1岩手大・院・
連合農学, 2岩手大・院・総合科学)
- 13:15 O2◎ ニラの低温馴化における温度と日長の影響
笠松勇登*¹, 河村幸男² (1岩手大・院・総合科学, 2岩手大・農・
植物生命)
- 13:30 O3◎ 野外での低温馴化とクリプトクロムの役割
加藤駿佑*¹, 河村幸男¹ (1岩手大・農・植物生命)

(座長：澁田 未央・山形大学)

- 13:45 O4◎ Developing cold tolerant plants through overexpressing actin
isovariant, ACT8, and modulating the intracellular auxin homeostasis
半澤綾*¹, アビドゥール・ラーマン^{1,2} (1岩手大・院・連合農学,
2岩手大・農・植物生命)
- 14:00 O5◎ BiFC を用いた MIZ1 および miz1-1、miz1-5 タンパク質の複合体形
成の検証
乙供真澄*, 宮沢豊 (山形大・理・生物)
- 14:15 O6◎ MYB52 and Brassinosteroid Regulate Hydrotropism by Affecting
Mechanical Properties in *Arabidopsis* Roots
卯博源*¹, 曾我康一², 藤井伸治¹ (1東北大・院・生命, 2大阪公立
大・院・理)

公開シンポジウム 15:00~16:30

「岩手で農学研究を支える若手研究者」

(座長：上村 松生・岩手大学)

- 15:00 S1 イネ抵抗性遺伝子の進化と機能の解明
清水元樹 (岩手生物工学研究センター)
- 15:30 S2 持続的な東北稲作を目指して：栽培と気象からのアプローチ
舩谷悠祐 (農研機構 東北農業研究センター)

16:00 S3 果樹に感染するウイルスの病原性に関する研究
八重樫元（岩手大学農学部）

ポスター発表 16:30～18:00（タイトル・発表者はポスター発表一覧を参照）

12月10日（日）

一般講演 09:00～11:15（◎は優秀発表賞選考対象、*は発表者）

（座長：日渡 祐二・宮城大学）

09:00 O7◎ Effects of ultraviolet-B radiation on morphogenesis of *Arabidopsis thaliana* under simulated microgravity
Xi Chen, Takumi Ichihara, Jun Hidema（Grad Sch Life Sci, Tohoku Univ）

09:15 O8◎ イネの子房形成における UV-B 光受容体 UVR8 の役割に関する研究
本間祐史朗*, 菅井美沙希, 三浦華子, 寺西美佳, 日出間純（東北大・院・生命科学）

09:30 O9◎ イネ CPD 光回復酵素の葉緑体移行抑制に関する研究 — N 末端領域のリン酸化とその周辺のアミノ酸特性 —
小林康太*, 大竹桃, 日出間純（東北大・院・生命科学）

09:45 O10◎ イネ科植物とゼニゴケ (*Marchantia polymorpha* L.) における CPD 光回復酵素の葉緑体移行メカニズムの違い
大竹桃*, 新井崇広, 小川裕雅, 愿山(岡本) 郁, 寺西美佳, 小松千春, 日出間純（東北大・院・生命科学）

10:00-10:15 休憩

（座長：大河 浩・弘前大学）

10:15 O11◎ ヒメツリガネゴケにおける微小管関連因子 AIR9 の機能解析
中村恵太*¹, 檜本悟史³, 日渡祐二^{1,2}（¹宮城大・院・食産業, ²宮城大・食産業, ³北大・院・理）

10:30 O12◎ ストレプト植物の陸上進出過程における 光化学系 I-集光アンテナの分子基盤
一甲アレクサンドラ愛美子*, 野村真未, 河合(久保田) 寿子（山形大・理）

10:45 O13㊦ 日本国内の天然林の地上部バイオマスと気候条件、樹種組成の関係：
どのような森林がより多くの炭素を貯蓄するのか？

梶野浩史^{1*}， 小黒芳生²， 黒川紘子²， 小野田雄介³， 饗庭正寛⁴， 彦坂幸毅¹（¹ 東北大，² 森林総合研究所，³ 京都大，⁴ 東京大）

11:00 O14 葉緑体分化過程における光依存的な遺伝子発現とクロロフィル合成にはチラコイド膜脂質の合成が不可欠である

藤井祥^{*1}， 野戸康生¹， 黒滝悠志¹， 小林康一²， 永田典子³， 中村友輝⁴， 増田建⁵， 和田元⁵（¹ 弘前大・農学生命，² 大阪公立大・国際基幹教育，³ 日本女子大・理，⁴ 理研・CSRS，⁵ 東京大・院・総合文化）

ポスター発表一覧

12月9日（土）

・ 16:30～17:15 ポスターセッション1：奇数番号

・ 17:15～18:00 ポスターセッション2：偶数番号

P1～P12：ポスター会場1、P13～P24：ポスター会場2

㊦は優秀発表賞選考対象、*は発表者

P1 GBF type large ARF-GEF GNL1 but not GNOM is involved in the salt stress

㊦ response in *Arabidopsis thaliana*

Sumaiya Jannat Tapati^{*1}， Abidur Rahman^{1,2}（¹UGAS Bioresource，²Iwate Univ Agri）

P2 コナギ（ミズアオイ科）において訪花昆虫が種子内微生物相に与える影響の検討

㊦ 館林融^{*1}， 横山潤²（¹山形大・院・理工，²山形大・理）

P3 シベリアメドハギの根粒内から得られたバクテリア相の解析

㊦ 原田智彦^{*1}， 藤田マリン²， 横山潤¹（¹山形大・理，²山形大・院・理工）

P4 宮城県志津川湾においてコクガンが利用する海草類の種構成の解析

㊦ 續橋瑠稀^{*1}， 嶋田哲郎²， 阿部拓三³， 佐藤賢二⁴， 鈴木卓也⁵， 横山潤¹（¹山形大・理，²（公財）宮城県伊豆沼・内沼環境保全財団，³南三陸町自然環境活用センター，⁴（株）エコリス，⁵南三陸ネイチャーセンター友の会）

- P5 コマツナギ（マメ科）在来集団および外来集団の遺伝的解析
佐々木丈流, 高井映里, 鈴木歌那子, 柴田清孝, 根本智行*（石巻専修大・理工・生物科学）
- P6 イネ CDK 阻害因子 Orysa;KRP3 の種子形成に関わる機能解析
伊藤輝俊*¹, 大矢志緒里¹, 宮川紗也¹, 菅原里花子¹, 斎藤靖史¹（¹岩手大・農・応用生物化学）
- P7 シロイヌナズナ ASYMMETRIC LEAVES2 (AS2) タンパク質の細胞周期における動態変化
笹部美知子*¹, 鈴木景子¹, 山上楓¹, 小島晶子², 町田千代子², 町田泰則³（¹弘前大・農学生命,²中部大・応用生物,³名大・院・理）
- P8 シロイヌナズナの細胞分裂を制御する多機能性キネシン ATK1 の相互作用因子の探索と機能解析
山地良樹*, 三上裕大, 菅原史帆, 千葉俊太, 笹部美知子（弘前大・院・農学生命）
- P9 多機能性キネシン Kinesin-14 ファミリーメンバー ATK2 及び ATK3 の解析
飯塚雄麻*, 山地良樹, 笹部美知子（弘前大・農学生命）
- P10 植物の細胞質分裂を制御するキネシン 14 ファミリータンパク質の相互作用候補因子 BGLC1 の解析
蝦名賛*, 山地良樹, 菅原史帆, 千葉俊太, 笹部美知子（弘前大・農学生命）
- P11 マルバマンサクに形成される 2 種類の虫こぶの形態的差違を生み出す要因の探索
鈴木啓充*, 小黒那智, 池田紘士, 笹部美知子（弘前大・農学生命）
- P12 イネ花粉内の雄性配偶子細胞の分化に必須な R2R3 型 MYB 転写制御因子遺伝子の発現解析
鈴木雄悟*¹, 高木駿弥¹, 櫻井健二², 渡辺明夫², 赤木宏守², 上田健治²（¹秋田県立大・院・生物資源、²秋田県立大・生物資源）

- P13 原種コーヒーカフェイン生合成系酵素遺伝子の機能解析から探る *Coffea* 属
の進化
井田美帆*¹, 青塚友哉², 北村和己², 國久葉月¹, 水野幸一² (¹秋田県立大・院・生物資源, ²秋田県立大・生物資源)
- P14 ダダチャマメにおける早期開花遺伝子の推定と食味関連 QTLs との関係性
塩谷直弘*¹, 横山紗季², 小木曾映里³, 宮城敦子^{1,2}, 川合真紀⁴, 星野友紀^{1,2} (¹山形大・院・農, ²山形大・農・食料生命環境, ³国立科学博物館・分生多研セ, ⁴埼玉大・院・理工)
- P15 *Synechocystis* sp.PCC6803 グリコーゲン合成関連遺伝子変異株の増殖特性比較
石井知裕, 後藤太政, 大河浩 (弘前大・農学生命・生物)
- P16 *Synechocystis* sp. PCC6803 におけるグルコース利用・増殖および肥大への
ppa の寄与
後藤太政*¹, 片野創太¹, 成田碧希¹, Ferjani Ali², 大河浩¹ (¹弘前大・農学生命・生物, ²東京学芸大・教育・生命)
- P17 *Synechococcus elongatus* PCC7942 細胞内無機リン酸関連遺伝子変異株の生育
および無機リン酸利用特性比較
北山二千翔*¹, 成田碧希¹, 大河浩¹ (¹弘前大・農学生命・生物)
- P18 イネの葉のプロポーシオン (葉身・葉鞘の比率) を制御する遺伝子の解析
鳥羽大陽*¹, 藤原星香¹, 古田智敬² (¹宮城大・食産業, ²岡山大・資源植物研)
- P19 葉緑体 DNA 結合タンパク質 MFP1 は遺伝子発現の制御タンパク質を膜上に
集積する
野戸康生*¹, 川島祐介², 石川将己², Miguel Palomar³, Andrzej Wierzbicki³, 西村芳樹⁴, 藤井祥¹ (¹弘前大・農学生命・生物, ²かずさ DNA 研究所, ³Department of Molecular, Cellular and Developmental Biology, University of Michigan, ⁴京大・院・理)
- P20 色素体の遺伝子発現制御におけるフェージ型 RNA ポリメラーゼ結合タンパク質
NIP の役割
黒滝悠志*, 藤井祥 (弘前大・農学生命)

- P21 常緑落葉混交林に共存する最大樹高の異なる樹木 20 種の光獲得に対する
④ フェノロジーの影響
山川真広*, 彦坂幸毅 (東北大・院・生命)
- P22 根と葉の形態形質間の関係に対する菌根共生の違いによる影響
④ 鈴木桂実*¹, 廣川周作¹, 梶野浩史¹, 富松元¹, 門脇浩明², 彦坂幸毅¹ (¹東北大,
²京都大)
- P23 岩手県で初めて確認された帰化種マキバスミレ *Viola arvensis* Murray の形態
および拡散の実態
武田眞一*^{1,2,3}, 荒木田昭子², 千葉丈³, 藤原靖史³ (¹盛岡市, ²岩手植物の会,
³全農いわて)
- P24 花粉における特殊な転写状態の観察
澁田未央 (山形大・理)